

FC コレチーボ静岡 2021



2021. 11.15

FC コレチーボ静岡を応援してくださっている皆様、いつもありがとうございます。

今回は、普段の練習の様子や初の日本選手権報告をさせていただきます。

コロナ禍でなかなか皆さんと会えませんが、感謝の気持ちをもってこれからも頑張っていきます。

FC コレチーボ静岡の2021 スローガンは、挑戦です。今回は、日本選手権を軸に挑戦の様子をお知らせします。

【練習会・体験会】

10月31日(日)エスパルスドリームフィールド静岡で、練習体験会を行いました。地域の少年団やエスパルスのスクールの児童がたくさん参加してくれました。

子どもたちからの質問コーナーでは、「歩くときはどうするの?」「買い物で困ることは?」「食事はどうするの?」と鋭い質問をたくさんいただきました。選手たちも丁寧にわかりやすく答えるように頑張っていました。これからも地域のやさしい街づくりに貢献していきたいです。

【西部パラフットボールフェスティバル】



11月7日(日)浜松市浜北区サーラグリーンフィールドで、西部パラフットボールフェスティバルに参加しました。聖隷クリストファー大学の学生、知的障がいのサッカーチームにお手伝いいただき、フェンスを立てての初練習を行いました。

壁の感触を確かめながら、互いに声を掛け合い、位置を確認する、ガイドの声でピッチの自分の位置を確認する、キーパーから壁に出たボールを受ける、ガイドの声を聞きながら、ドリブル、シュートそして激しいぶつかり合いなど、今までできなかった練習ができました。

紅白試合では、なかなかシュートまでもっていきえず、ゴールは、キャプテンのなべの1点でしたが、パスが通ったり、ガイドの声でシュートなど「試合になる」という実感を得ることができました。ガイドも、どんな声掛けが分かりやすいかなど選手とコミュニケーションをとる絶好の機会となりました。

【第19回アクサ ブレイブカップブラインドサッカー日本選手権】

公式記録

10:00 FC コレチーボ静岡 O-0 (PK 1-0) Mix Sense 名古屋
得点者[FC コレチーボ静岡]大庭正浩・背番号 10 (PK)

15:00 FC コレチーボ静岡 O-3 buen cambio yokohama
得点者[buen cambio yokohama]齊藤悠希・背番号 7 (前半 1 分、19 分)
／中村駿介・背番号 77 (前半 17 分)

1 位：buen cambio yokohama (準決勝ラウンド進出決定)

2 位：FC コレチーボ静岡

3 位：松本山雅 B.F.C.

4 位：Mix Sense 名古屋



11月14日(日)浜松市はままつフルーツパーク時之栖サッカー場にて日本選手権が開催されました。このような時期ですので、無観客で参加できる選手・スタッフも限られましたが初めての公式戦、果たして今までやってきた練習の成果は出るのか、冗談の好きな選手たちも少し緊張気味なスタートです。

1回戦は、名古屋とです。顔見知りのチームですが、互いに声を交わすことなく、黙々とウォーミングアップです。

10時キックオフ、割と動いています。激しいあたりに負けることなく、ボールの支配率も相手を上回っています。相手のシュート数を大きく上回るシュート数でしたが、残念ながら得点には至りませんでした。

後半は、体力不足、選手数の不足等から、名古屋のペース、何度かシュートを打たれるシーンがありましたが、キーパーが上手くコントロールして0対0。初のPKです。名古屋がバーをたたくなど運は静岡にあります。キーパーの好セーブのあと後攻のまあちゃんが決めて初勝利です。

今回は、静岡県、浜松市、浜松のアクサ生命の方々が視察に見えていましたが、我々の試合で「ブラインドサッカーの面白さ」を知ったとわざわざ声を掛けていただきました。

2回戦は、1回戦で長野に勝った横浜です。

15時5分キックオフ、1試合目の反省を生かし、フォーメーション等を検討して試合に臨みましたが、前半、横浜にボールを支配されます。初失点され意気消沈するかと思われましたが、ピッチ中で声を掛けながら動いています。体力は大丈夫のようです。

3点ビハインドの後半、もう一回気合を入れなおします。前半と同じようにピッチの中で声をかけあいながら守り、キーパーの好セーブもあり失点0で納めました。

今回は「相手が上だった。」と認めるしかありませんが、次への収穫もたくさん得た大会でした。

